

わたしも
一筆農業技術・知識の習得と
町民とのふれあいを大切に

▷リンゴの摘果作業で大忙し、通年で五人の作業員を頼んで仕事をしています。



・
今 久 志
(鶴田町みどりの会 会長)

鶴田町みどりの会とは、農業後継者の育成と農業技術の向上、また会員相互の親睦を図るために昭和四十九年に結成され、今年で三十三年目を迎えます。現在は会員が三十二人いて、畑作部と果樹部に分かれ各事業に取り組んでいます。

畑作部の主な活動としては、会発足以来継続している夏のジャガイモと秋のダイコン・カブの栽培を行っています。つい先日はジャガイモの追肥、除草と梅雨に向けて殺菌剤による防除を行いました。今のところ生育は順調なので例年並みの収穫が期待できそうです。

また会では、学校給食応援隊に参加していて、野菜が収穫できると、地域の子どもたちに学校給食

の食材として野菜を提供しています。

果樹部では、先輩方の園地で研修する優良園の視察やせん定勉強会などをし、会員の技術と知識の習得のため、さまざまな活動を行っています。また今年から始まるリンゴ経営安定対策と果樹経営支援対策のことについて、普及指導室の担当の方に説明をもらいました。その数日後には、改植事業に役立てばと思い、リンゴの優良品種とわい化の台木について、ナイター学習会を開催しました。

近年農業を取り巻く環境が一段と厳しさを増していますが、これに負けずに町の基幹産業である農業の発展のため、会員一丸となって農業活性化のために努めていき

農業を始めて七年目を迎える今さんは、就農前はサービス業に従事していたそうです。現在はご両親と奥様の四人で、リンゴとサクラランボ合わせて約五町歩を経営しています。今年新しくみどりの会会長に就任した今さんに、会の活動の紹介をしてもらいます。

たいと思います。

みどりの会では、県内外での研修や町民文化祭への参加もしています。町民文化祭で、会員みんなが丹精込めて作ったリンゴやカブをお客様に直接販売することが、町民の皆さんとのふれあいの場にもなっています。こうして接客していると意見、要望などを直接聞くことができ、今後の課題が見えてきます。このような経験を通して会員が大きな刺激を受け、これからの仕事にも生かしていければと思います。

会員の中には基幹青年やりんご病害虫マスターなどの研修に行っている者もいます。病害虫の生態・防除法について聞くこともできるので、参考にしながら先輩方と会員たちとの情報交換をし、い

い事は吸収して仕事につなげています。

今年は、二人の新会員が入会してくれました。今後も農業に対する情熱と行動力で一層魅力あるみどりの会にしていければと思っています。

自分も会に入ってから七年目になり、これまでいろんなものを見て、聞いて学んできました。そして、多くの仲間と出会うことができても嬉しく思っています。

このような活動を行っている「鶴田町みどりの会」に興味のある方は、役場の産業観光課農政振興係まで気軽にお問い合わせてください。会員一同若い力の参加を心よりお待ちしております。